

所内情報システム用サーバの賃貸借契約に係る仕様書

令和6年10月

地方独立行政法人大阪産業技術研究所

目 次

| | | |
|-----|--------------------------|---|
| 第1 | 概要..... | 3 |
| 1 | 目的..... | 3 |
| 2 | 導入機器 | 3 |
| 3 | 賃貸借期間..... | 3 |
| 4 | 納期・設置場所 | 3 |
| (1) | 納期..... | 3 |
| (2) | 設置場所..... | 3 |
| 5 | 業務の概要..... | 3 |
| (1) | 機器などの賃貸借 | 3 |
| (2) | 搬入・設置・検証作業..... | 3 |
| (3) | 保守..... | 3 |
| 第2 | 機器等の仕様 | 4 |
| 1 | 機器構成仕様 | 4 |
| 2 | 機器の搬入・設置及び検証に関する仕様 | 5 |
| 3 | 保守に関する仕様..... | 6 |
| (1) | 保守範囲 | 6 |
| (2) | 保守期間及び対応時間..... | 6 |
| (3) | 保守内容 | 6 |
| 4 | 補足事項 | 6 |
| (1) | 機密保護..... | 6 |
| (2) | その他 | 6 |

第 1 概要

1 目的

本業務は、地方独立行政法人大阪産業技術研究所 和泉センター（以下「本研究所」という。）が地方独立行政法人として行う事務・運営に必要な所内情報システムに必要なサーバ機器等の賃貸借契約満了に伴い、後継となる機器等を調達するものである。

2 導入機器 所内情報システム用サーバー式

| 機器 | 数量 |
|---------|-----|
| サーバ本体 | 4 台 |
| 無停電電源装置 | 4 台 |

3 賃貸借期間

令和 7 年 3 月 1 日～令和 1 4 年 2 月 2 9 日

賃貸借期間満了後は、無償譲渡を行うものとする。

4 納期・設置場所

（1） 納期

令和 7 年 2 月 2 8 日（金）まで

（2） 設置場所

地方独立行政法人大阪産業技術研究所

和泉センター 和泉市あゆみ野二丁目 7 番 1 号 1F コンピュータ室

5 業務の概要

本業務は、調達機器等の賃貸借、搬入、設置、保守を行うものであり、本業務に関わる必要な費用は全て本調達に含めるものとする。

業務内容は、以下の通り。

（1） 機器などの賃貸借

サーバ類の賃貸借。

なお、借入れ物品その他すべて付属品は中古であってはならない。

賃貸借契約満了後の物件については、無償譲渡とすること。

（2） 搬入・設置・検証作業

設置場所へ搬入し、サーバ及び無停電電源装置の梱包を解き、本研究所より指示する通りに設置し、検証を行うこと。機器納入後、機器を梱包している箱等、本研究所が不要と判断するものを持ち帰ること。

（3） 保守

サーバが機能を保つように、対象ハードウェア等の保守作業を行うこと。保守作

業にあたっては、本研究所の運用支援業者との円滑な協力体制を実現すること。
 なお、保守作業に関し、保守の範囲を超えるものを除き、本研究所に対して別途
 費用を請求することはできない。

第 2 機器等の仕様

1 機器構成仕様

| 機器名称 | 項目 | 項番 | 仕様内容 | 数量 |
|------|-------------|------|--|-----|
| サーバ | CPU | 1-1 | Intel Xeon Gold 6526Y と同等以上の性能のものを 2 つ以上搭載すること | 4 台 |
| | メモリ | 1-2 | 規格が DDR5 で合計容量が 256GB 以上であること | |
| | | 1-3 | 転送速度が 5200 MT/s (1DPC) 以上であること | |
| | ストレージ | 1-4 | 3.5 インチ SAS HDD が 12 台以上搭載可能であり、20TB 以上の 3.5 インチ SAS HDD を 5 台以上搭載していること | |
| | | 1-5 | 2.5 インチ SAS HDD が 4 台以上搭載可能であり、2TB 以上の 2.5 インチ SAS HDD を 4 台搭載していること | |
| | 電源 | 1-6 | 1400W 以上の冗長化電源を装備すること | |
| | | 1-7 | 動作電圧範囲 100～240V を満たすこと | |
| | | 1-8 | 電源ケーブルを 2 本備えること | |
| | フォームファクタ | 1-9 | 19 インチ 2U のラックサーバであること | |
| | ネットワークアダプタ | 1-10 | 1GbE の RJ45 ポートを 4 ポート以上備えること | |
| | | 1-11 | 10/25GbE の SFP28 ポートを 4 ポート以上備えること | |
| | ストレージコントローラ | 1-12 | RAID 0, 1, 0+1, 5, 5+0 に対応していること | |
| | 映像端子 | 1-13 | モニタの I/F として、本体の前面と背面に VGA ポートを 1 ポート以上備えること | |
| | USB ポート | 1-14 | USB Type-A を本体の前面と背面に 1 ポート以上、合計 3 ポート以上備えること | |
| | リモート管理機能 | 1-15 | OS の状態に依存せずに、ネットワーク経由でのサーバの管理/制御（電源管理、仮想コンソ | |

| | | | | |
|---------|---|------|---|-----|
| | | | ール/仮想メディア) が可能であること | |
| | | 1-16 | リモート管理のために専用のネットワークポート (RJ-45) を備えること | |
| | 保守 | 1-17 | メーカーの製品保証が 7 年以上付与されていること | |
| | | 1-18 | 故障対応時に HDD の返却が不要であること | |
| | その他 | 1-19 | EIA 規格に準拠した 19 インチラック対応のマウント金具が付属していること | |
| 無停電電源装置 | フォームファクタ | 2-1 | 19 インチラック対応のラックマウント型であること | 4 台 |
| | 電源 | 2-2 | 動作電圧範囲 100～240V を満たすこと | |
| | | 2-3 | 電源ケーブルを 1 本備えること | |
| | 出力容量 | 2-4 | 最大 1500VA 以上であること | |
| | その他 | 2-5 | EIA 規格に準拠した 19 インチラック対応のマウント金具が付属していること | |
| 備考 | (1) 機器は、公示日に製造を行っているものであり、未使用のものであること (2) 数量が 2 以上のものについては、すべて同一機種 (製品) であること (3) 調達した機器の利用、設置に伴って必要となる物品 (接続部品、ケーブル、金具等) については、本仕様書の記載の有無に関わらず提供すること (4) サーバが国際エネルギースタープログラムに適合していること | | | |

2 機器の搬入・設置及び検証に関する仕様

- ア) 本業務の受注者は本研究所と打ち合わせを行い、作業内容等について十分な調整を図り、作業計画書を作成し提出すること。作業の途中段階で計画の修正・見直しが必要となる場合は速やかに本研究所の担当者と協議すること。
- イ) 機器の納品にあたっては、研究所の提示するスケジュールを元に日程調整を行うこと。
- ウ) 物品の運搬・納入に係る経費は受注者の負担とすること。
- エ) 本調達機器の設置作業等は、原則として平日（土曜日・日曜日及び国民の祝日を除く）9時から17時までの間に行うこと。
- オ) 設置作業として研究所 1F コンピュータ室内既設のサーバーラックへのラッキングも行うこと。
- カ) 調達する機器は次に指定する方法により正常に動作することを確認すること。
- ・本体と無停電電源装置を、研究所が用意するモニタ、マウス、キーボードに接続し、電源を入れて最初の画面が立ち上がる事を確認する。
 - ・プログラム等の設定は必要ない。

キ) 機器を梱包している箱等は、研究所の指示に従い、受注者の責任において処分すること。

3 保守に関する仕様

(1) 保守範囲

保守の範囲は、本仕様書により整備する機器について保守すること。

(2) 保守期間及び対応時間

保守契約期間は納入期限から7年以上とする。

ただし、機器の設置後から保守契約開始までの間も保守契約期間と同等の保守対応を行うこと。なお、この間の保守に要する費用は受注者の負担とする。

機器の保守受付及び保守作業は、平日(土日・祝日を除く)9時から17時までを原則とする。

(3) 保守内容

以下の作業を受注者の責任において確実に実施すること。なお、下記に示す内容は必須条件であり、これ以外の内容についても本研究所業務に影響を与えないよう必要に応じて実施すること。

ア) 障害時の連絡対応、問診

イ) 障害切り分け作業、オンサイト対応、必要に応じた部品交換

保守品質を維持するため、導入機器のメーカー(系列会社含む)による保守を行うこと。修理依頼の連絡フローについては受注者と調整するものとする。

4 補足事項

(1) 機密保護

本契約内で得た情報に関して機密を保持すること。

(2) その他

ア) 納品時等において建物等へ損害を与えた場合は、受注者の負担において現状に回復すること。

イ) 本仕様書に疑義がある場合は、本研究所に質問しその指示を受けること。

ウ) 契約後の本仕様書の解釈は本研究所側によるものとする。

以上